

令和2年7月20日

## 第1回 学校運営協議会議事録

### 協議会委員

堅田利明、高田 茂、徳永史伸、山寄剛史、麻生恭子、犬塚優子

### 本校事務局

小嶋信男 校長

田原 聡 教頭

山口範晃 事務長

前出和彦、富田哲司、中村秀治、藤本信吾、梅崎 亮、高沖 敦、岡田実千子

進行 本校教頭 田原 聡

### 1 校長挨拶

学校運営に役立てて行くため、今年度も様々なご意見を頂戴したい。

コロナ感染での休校が府立高校で5校。実際には3日間の休校では済まない状態と聞いている。本校では幸いにも今のところ発生していない。

生徒にとってはかけがえのない1年である。学校行事の変更(海外修学旅行・体育祭・文化祭など)などもあるが、より良いものにしていきたい。

### 2 出席者紹介

略

### 3 会長選出

堅田利明氏を選出。

### 4 事務局より

事務局よりまず説明があるので、その後協議をいただき、経営計画等について審議をお願いしたい。

#### (1) 令和2年度学校経営計画について(校長)

「平成31年度学校経営計画」の「自己評価」について、まずご覧いただきたい。重点項目については例年「学校教育自己診断」において、生徒・保護者・教職員から評価をいただき、その結果をもとに達成された点、引き続き努力が必要な点等を確認した。

「令和2年度学校経営計画」は、上記評価を参考にしながら、あらたな視点も取り入れて作成した。令和3年度は「国際教養科」から「国際文化科」への学科再編も控えている。国際文化科のコンセプトについては別紙で説明させていただく。

(2) 教務部より（教務主任）

4月、5月と休校が続き、行事予定を大幅に変更した。受験に不利にならないよう、授業数の確保には特に注意が必要。一方、オンライン授業システムの構築は一気に進み、すでに発信可能な状態にある。教職員の間ではICT機器の需要が高まっている。

(3) 生徒部より（生徒指導主事）

令和元年度は「遅刻者年間1000件以下」という目標は達成したが、数としては増えており課題と認識している。コロナ禍の中ではあるが、心に残る行事をできる限り実現していきたい。

(4) 進路指導部より（進路指導主事）

55期生（令和2年3月卒業）の進路状況を説明。四年制大学進学が増、短大、浪人は減。特に浪人は大幅に減少した。全般的に安全志向だったといえるが、これは令和3年度の入試改革の影響である。今年はコロナ禍の中で、校外模試や外部検定試験、各種進路説明会なども実施できていない。

(5) 前出首席より

授業アンケートの日程変更

例年は6月、12月だが今年度はコロナ禍のため9月、1月に変更。

オンライン授業

5月には全教科で動画を配信した。また、教務部からも話があったが、オンライン授業システムも整っている。

(6) 国際交流について（国際教養科長）

夏季休業中のオーストラリア滞在研修は中止する。4月より本校に来る予定であった海外からの留学生も現時点で来日できていない。ただ、先日開催した留学説明会には1、2年生から20名の参加があり、海外で学ぶことへの意欲は、このような時期でもしっかりと根付いていると感じた。

## 5、協議・意見交換

進行は堅田会長に交替

(1) 質疑応答

Q H31年の「学校教育自己診断」では、清掃・初任者育成体制・緊急時の役割分担など肯定率が大きく下降した項目があるが、R2年の経営計画にどのように反映されたのか。

A まず初任者の項目については、昨年度初任者が居なかったためだと考えられる。今年度は1名で、十分に体制が取れていると考えている。緊急時体制は、昨年時点では定例的な

ものであったが、今年度はコロナ禍の事もあり、現時点では構築できている。

**Q 英検の合格者は国際教養科が多いのか。**

A 普通科・国際教養科の両方から区別なく出ている。直近である1月には100数十名が受験した。

**Q 受験数・合格者数を増やす方針か。**

A その予定である。ただ、年に数回行われる従来型英検のうち、第1回目は校内で受験をさせていたが、コロナ禍で実施できなかった。

**Q 生徒一人ひとりの自己肯定感をどのように伸ばしているか。**

A 授業で言えば、数学の授業では、定期テスト以外にも、確認テストなどを実施することで、偏差値をあげている。理解を実感することで達成感を意識させることができている。また、行事・部活・「総合的な学習（探究）の時間」などは、先輩と後輩、同級生の仲間たちとのつながりを強化することが目的の一つでもあり、これらの活動を通じて、生徒たちは、すこしずつ自己達成感を持つようになっていくと考えている。

今年度の「総合的な学習の時間」ではSDGsについて枚方市との連携企画（3年）も予定されている。外部の大人たちと協働することで一層の達成感を体験してほしい。

**小学校の状況**

小学校でも、コロナ禍による負担が大きく、消毒、トイレ掃除は毎日教員で行っている。新学習指導要領もある。そんな中、自己肯定感をどのように身につけさせていくかは小学校でも大きな課題である。その一環として、小学校でもSDGsに取り組んでいる。

**保育所の状況**

枚方高校とはこれまでもいろいろな交流を行ってきた。小さな子への思いやりを育むことも自己肯定感を育てるうえで大切なこと。今後もぜひお願いしたい。

**Q コロナ疲れや精神的な影響などはみられるのか。**

A 保健室登校は現在はなく、コロナ不安を如実に訴える生徒は現時点ではない。ただし、保健室で体を休める生徒は増えている。コロナの事が話題になることもある。様々な理由で精神的な不安の訴えがあった場合は、スクールカウンセラーなどに繋げていく体制も整えている。

**Q オンライン授業の体制は全家庭で整っているのか。**

A スマートフォンの所有率はほぼ100%。ただしPCやタブレットについては、親兄弟がリモートワーク等で使用しているケースも多いと聞いている。

(2) 学校経営計画の承認について

令和2年度学校経営計画は承認されました。

議長交替

堅田会長から田原教頭へ

## 6、事務局より

### 事務室

今年度はブロック塀改修に伴う工事がある。長期間にわたる工事になる。

### 教頭

諸連絡の効率化を図るため各委員のメールアドレスを収集したい。

## 7、閉会の挨拶

最初にお話ししたように、今後は文化祭、修学旅行など大きな行事もある。学校としては、コロナの状況を注視しながらも、できる限り実施の方向で進めていく予定。国際文化科初年度に向けても十分な準備を進めていきたい。学校運営協議会は今年度もあと2回予定しているので、引き続き忌憚のないご意見を頂戴したい。

閉会宣言（田原教頭）